

こすど公民館報

須野良知 戸部栄一 小間 昭
発行所 須野良知印刷所
印刷所 須野良知印刷所



いやさか祈って

こけら落しの民踊



歩み出した中央公民館

こけら落しも賑やかに

七月二十日竣工式を挙げた中央公民館は、予定通り八月一日から順調な歩みをはじめました。それ先立って二十六七両日は一般市民に公開して大ホールで民踊大会映画会を開催しました。特に前夜の民踊は、民踊保存協会・新電民踊クラブ・うでこぎ民踊クラブ・姫の会・長寿大学民踊クラブの代表者によって企画運営されたもので観覧者を含めて約四百五十名が一体に溶け合った本当に和やかな楽しい行事でありました。関係者の皆さん並びに名司会が盛りあげていただいた藤井徳則さんに厚く御礼を申し上げます。

中央公民館 利用規則

第一条 この規則は須野戸町中央公民館(以下

公民館という)設置条例第一条に基づき、その利用について必要な事項を定めることを目的とする。公民館を利用しようとするものは使用申請書を使用の五日前までに館長に提出し許可を受けなければならない。但し急を要する場合は特に承認を得て使用することができる。前項の申請書は使用前三十日以上のものである。原則として提出することができない。館長は使用を許可したときは使用許可書を使用者に交付する。公民館の休館日は次のとおりとする。但し館長が必要と認めるときは、臨時に休館し又は開館することができる。一、毎木曜日全日。毎月曜日全日。二、国民の祝日に関する法律に規定する日。三、十二月二十九日から一月三日までの間。第五条 公民館の使用は原則として午前九時から午後五時までとし、夜間の使用については午後七時より午後九時半までとする。第六条 館長が次の各号

に該当すると認めるときは、その使用許可を取消することができる。一、社会教育法第二十条の規定に反すると認めるとき。二、公共の秩序または善良な風俗を乱すおそれがあるとき。三、使用申請書の目的が設置条例に違反すると認めるとき。第七条 使用者又は入場者は次の各号に掲げる事項をしてはならない。一、許可を受けずに備品の使用。二、建物その他の物件を汚損若しくは損傷するおそれのある行為。三、規定の場所以外での火気の使用。四、飲酒を目的とする集合のその他、他人に迷惑をおよぼす行為。第八条 使用が終了したときは使用前の姿に整理整頓し、係員の点検を受けなければならない。第九条 この規則で定められたものは、必要な事項は館長が定める。附則 この規則は昭和五十年八月一日より施行する。従前の須野戸町公民館使用規則は、これを廃止する。

利子の特別高い定期郵便貯金発売中 小須戸郵便局 郵便局では福祉対策の一環として利子の特別高い定期貯金を行っています。◇ご利用できる方 老令福寿年金・障害福祉年金・母子・準母子福祉年金・児童・特別児童扶養手当・特別福祉手当 原爆被害者の特別手当及び健康増進手当の支給を受けられている方。◇貯金利率 一年割 ◇貯金期間 一年間 ◇お預けになれる金額 一人五十万円まで ◇お申込みのときは年金証書(又は保管証)を必ずご持参ください。

公民館職員二名増員

よろしくお願ひします 清水沢泉さん・吉田ミナさん



午後勤務であります。吉田さんは清掃を主として雑用を担当します。他の職員同様親しくおつきあひいただきますようお願いいたします。



新しい館に即した職員体制をととのえるために右記の二人が任命されました。清水沢さんは代行者として土曜午後、日曜午前

《山の手大運動会開催》 恒例の矢代田分館主催・大運動会が下記により開催されます。〈記〉 場所=矢代田小学校グラウンド 日時=8月24日(日) 午前9時~午後3時

竣工開館を祝って

~ かずかずのご寄附 ~

- ・刺しゅう画額入 斎藤ミネ殿
- ・大型サイドボード マルサ家具店殿
- ・掛時計 マルコ殿
- ・町ライオンズクラブ殿
- ・推花台 理研弘進工業(株)殿
- ・大型書庫 玉庭印刷所殿
- ・ヒマラヤンダ 一三本丸山耕平殿
- ・つつじ玉作り 一〇本 岩崎正平殿
- ・スリッパ 二四足 中信商店殿
- ・金一万円 米田東吉殿
- ・金五千円 加藤大輔殿
- ・金三千円 三市中蒲公運殿
- ・金二千円 村松町殿
- ・金一千元 横越村殿
- ・カラテテレビ一台 新沼 加藤国一郎殿
- ・各清酒三升 小須戸町金融団殿
- ・各清酒二升 中央設計(株)殿
- ・大明電業(株)殿
- ・昭栄堂印刷所殿
- ・土屋安二殿
- ・各ビール一打 新津 梅津 久殿
- ・比企政次郎殿
- ・高橋キヨ殿
- ・掛時計 ニコ殿
- ・小須戸町医師会殿
- ・サッキ 沢山殿
- ・町園芸組合殿
- ・ゴムの木 大三鉢 うでこぎ青年会殿

開館までの かげの奉仕者

平間 勉さん 連合青年団 婦人会・青年学級

団・青年学級の諸君・婦人会の方々のお申し出により数回にわたって奉仕をいただきました。こうした純粋な善意に満ちたご奉仕ほど、ありがたきものはありません。心よりお礼を申し上げます。

・老人懇の家での学習 囲碁将棋クラブ 園芸クラブ 楽焼クラブ(当分の間 中央公民館と中学校で) 八月後半より 二〇日(水) 民踊ク 二四日(金) 園芸ク 二七日(水) 家庭ク 三〇日(土) 書道 九月前半 一日(月) 書道ク 一〇日(水) 家庭 一五日(月) 囲碁ク 一四日(日) 書道ク

土俗信仰(一) お地藏さま

柏 大治 村落の成立するところには、神社やお寺が必ず建立されています。人間は名譽や物質やお金だけで生きられないからでしょう。こうした既成宗教とは別に土俗信仰または民間信仰があります。これらを研究してみると郷土の心の占里を知ることができ、中でも大衆信仰として古くから親しまれ、庶民の思いの念願がこめられています。最近では交通安全地蔵・進学地蔵などありますがまた酒呑み地蔵など、こっけいの道楽地蔵さまもいます。元來地蔵さまは釈迦入滅のち弥勒(みろく)菩薩が五十六億七千万年後に出生する間、六道に迷う衆生を救う菩薩で、一切衆生を迷いから救うなれば、仏にならぬといふ場合は、仏にならないと大誓願(十大誓願)をたてています。私達が迷っていますから、地蔵さまは一段上の仏(如来)にはなかなかなることだできません。 だいたい地蔵さまは冥土に、お姿をあらわしてお前は死ぬのはまだ早いと婆に追い返して、こんなわけでは命地蔵などといわれる地蔵さまが、一番多いようです。

執筆者ご紹介

柏 大治(六十才) 昭和四十七年まで役場に勤務。現在文化財保護審議委員。当町における唯一の郷土資料研究者。

日本の重要文化財になっているのは大徳延命地蔵です。小須戸の茂林寺の地蔵さまもその一体です。地蔵さまの基本的なお姿は、錫杖に宝珠を持つ六体地蔵、あるいは六地藏などがあります。これは後世で元亨釈書に詳しく書いてありますが、周州の玉祖の神官惟高が累代の神官なるも佛法を信じ、長徳四年(九九八)に死に迷路に大人の沙門に逢い救われた。 一人合掌(畜生)一人香炉(地獄)一人宝珠(餓鬼)一人錫杖(人間)一人念珠(天堂)一人幡(修羅)このお姿をまつたのが六体地蔵とされています。地蔵さまのお姿により何を意味するのかが、知っておいてよいと思います。 また十五才以下の子供が死ぬと賽の河原に親の罪を子供がなうために鬼に責められ石を積む。泣き泣きまた石を積む、それを地蔵さまが助けるなどの賽の河原説がありますが、これは日本の地蔵信仰とは関係なく、中国の偽経十経あたりから日本に流れてきた思想のようです。子育地蔵などというのも、これらの思想のあらわれです。 地蔵さまの本来の役目は、六道輪廻に迷っているものを救う菩薩です。六道から一歩超越することを、悟りとも仏ともいいます。(つづく)

新保竜玄 ことも会結成!!

地域ぐるみの育成会も

地域こども会が一つ誕生しました。こどもを持つ親と各層代表者の方々の熱意と努力の結果です。このこども達が健やかに成長し、次代を担う立派な大人になるよう、みんなで見守っていききたいと思います。

青少年非行の激増を憂い、こども会等の組織をつくって、これが健全育成をはかることの必要性が、識者によって強く叫ばれてきた。

当町においても数年来教育懇話会、青少年問題協議会等で重要な話題として取り上げられながらなかなかその実現が結び付かなかった。新保竜玄では、これを分館事業として推進したいとの考えから、教育長・町社会教育関係代表・学校側・小

中学校PTA役員・各種団体代表、更に一般住民にも呼びかけて、数回にわたる懇談会を開いたのである。幸い大方の賛同を得たので、夏休みを控えて取敢ず、こども会を七月二十五日午前九時より中央公民館大ホールに地域小中学生全員集合の結成式を行った。

まず川瀬分館長の挨拶があり、次に誕生会の幹事役である町社会教育長、榎原社会教育委員長



決意をこめて代表の謝辞

各地区PTA補導員会が企画された休みの行事の遂行、一般青少年層による補導員体制の確立、リーダーの養成等に重点を置き、名実共にそなわったこども会へ一歩一歩進めたい方針である。

忙しい現代に 心のうるおいを

当町における社会体育の振興は目ざましいものがあります。一方では文化教育部門の欠如が指摘されるのではないのでしょうか。

お知らせ

栄養指導車 「やひこ号」がきます

- ◇高血圧の食事(午前)
- ◇農繁期の食事(午後)
- 九月四日(木)
- 九月五日(金)
- 九月六日(土)
- 九月七日(日)
- 九月八日(月)
- 九月九日(火)
- 九月十日(水)
- 九月十一日(木)
- 九月十二日(金)
- 九月十三日(土)
- 九月十四日(日)
- 九月十五日(月)
- 九月十六日(火)
- 九月十七日(水)
- 九月十八日(木)
- 九月十九日(金)
- 九月二十日(土)
- 九月二十一日(日)
- 九月二十二日(月)
- 九月二十三日(火)
- 九月二十四日(水)
- 九月二十五日(木)
- 九月二十六日(金)
- 九月二十七日(土)
- 九月二十八日(日)
- 九月二十九日(月)
- 九月三十日(火)
- 十月一日(水)
- 十月二日(木)
- 十月三日(金)
- 十月四日(土)
- 十月五日(日)
- 十月六日(月)
- 十月七日(火)
- 十月八日(水)
- 十月九日(木)
- 十月十日(金)
- 十月十一日(土)
- 十月十二日(日)
- 十月十三日(月)
- 十月十四日(火)
- 十月十五日(水)
- 十月十六日(木)
- 十月十七日(金)
- 十月十八日(土)
- 十月十九日(日)
- 十月二十日(月)
- 十月二十一日(火)
- 十月二十二日(水)
- 十月二十三日(木)
- 十月二十四日(金)
- 十月二十五日(土)
- 十月二十六日(日)
- 十月二十七日(月)
- 十月二十八日(火)
- 十月二十九日(水)
- 十月三十日(木)
- 十月三十一日(金)

学校だより

小須戸小で林間学校を実施

集中豪雨の翌日、空模様が心配でありましたが幸いよい条件に恵まれ、六年生の林間学校が八月七・八日の二日間、北蒲笹神村の「五頭連峰少年自然の家」で実施されました。

この少年自然の家は、明るく、爽しく、元気で、目あてのよい、本年六月三日開所したばかりです。

二日間の日程は、少年自然の家で作成された生活表を中心に、児童の実態を考慮して進められた。児童たちは、施設を自由に使用してよいが、迅速な行動と時間厳守の活動でありました。

このたびの林間学校を実施するに六年生の担任を中心に、PTAの六年学年委員の父兄の方々は計画作りに、児童を安全に、思い出深い印象に、大変ご苦労されました。

すべて苦学し、宿泊室、研修室・体育館・食堂の中で、本校児童は一泊二日の規則正しい集団生活を体験しました。

い出となった二日間であったと思えます。

去る八月三日、新潟市体育館で行われたママさんバレー県大会において町代表の小須戸分館ママさんバレーチームは、下越ブロックにおいて強豪新津・白根チームを破り、みごと第三位に入賞しました。なお一位五泉・二位新発田でした監督の高木さんを中心



連青・天ヶ沢青年会 初の交歓会を開催

小向青年会が連青に加入

先月結成された天ヶ沢青年会が連青青年会と初の交歓会を行った。また、小向青年会が連青に加入した。

去る八月一日天ヶ沢の感恩寺において、連青青年会(五十嵐力団長)と天ヶ沢青年会(高野良一)が交歓会を行った。約四十名が参加し、地域社会における青年の役割についての意見・情報交換を行い、双方の親睦を深めて交歓した。

また、近い将来に連青への加入の動きを見せて

第26回 新潟県公民館大会

下記要項により 県公民館大会を開催いたしますので 公民館・社会教育関係者及び一般希望者は多数ご参加下さい。

- 期日=9月5日・6日
- 会場=新潟市市民会館
- 分科=行財政・運営・青少年教育・成人教育・高齢者教育の五部会
- 詳細は公民館へお問い合わせ下さい。

分館だより

◎ 新保分館

大多摩流家元を迎え 民謡講習会

新保民謡クラブは分館主催のもとに八月三日夜中央公民館大ホールにおいて、おさらい会を開催しました。

◎ 料理講習会

去る七月十九日、新保公民館で婦人会・婦人学級共催の栄養料理講習会を行いました。約四十名の受講者は楽しい雰囲気の中で本當によい勉強をしたと喜んでおられました。

◎ 電話設備増設

このたび局内及び線路設備の増設工事を行うことになりました。局内工事は九月十二日まで、線路工事は十月三日までです。局員が電柱の新設や立替等でお伺いした際には、よくお話し致します。

◎ 電話設備増設

このたび局内及び線路設備の増設工事を行うことになりました。局内工事

七月旬会報

釣舟も巡視の舟も虹の中 冷房に冷えし二の腕そとを抱く 朝顔やいつまでつづく立話し 初恋の想い出遠く交歓の花 酒の香がほのかに夏の汗 向て意見の一致を見、今後とも共同学習を行うことになった。

梅雨長し老母に処方薬同じ 梅雨空を見上げて山羊のうそをふけり 空揚げの茄子の輪切りの皮の紺

静花 虚秋 芳人 紫江 林浪 良遊 香月 榎男 喜楼 山葵

祭

緑日の店先に佇むと思ふ心惚れたる少年の日を

わたしのふるさと

然りませぬ。東京湾を埋めて工場が出来ました町は発展しましたが、空気がよくなりました。でも僕が生まれた育ったところですので、やっぱり懐かしい町です。

こちらに来て、まだ一カ月半ですが、山も海も前にも書ききれないほど原市と比較できないほど空気がきれいです。でも千葉も房州の方へ行ったら太平洋の荒波、海岸線には花が植えられて、とても美しい所です。花は冬でも咲き、友達と一緒に見学に行ったり、冬になると月に二回はドライブに行き、帰りは魚を食べていただきます。原市も工場が出来ると、魚もうまい所です。こちらは冬がとてつもない所と聞いています。僕は寒さに強いほうではありませぬので、今から心配しておきます。しかし皆さんから心配はないと慰められる言葉をかけてもらっています。僕の感想としてはこの町は住みよい町だと思います。今は友達が一番ほしいので、皆さん宜しく願います。

川瀬三夫